

サウンドスクール のご紹介

サウンドスクールとは、簡潔に申しますと、豊中市（豊中市教育委員会）と市内小中学校が連携をして行う授業のことです。この事業に参加するかどうかは学校の希望によります。授業支援という形で大阪音楽大学連携支援センターと連絡を取り合い、対象学年やメニューを決め、来校日や時間を調整・決定して、豊中の庄内にある、大阪音楽大学の学生（含むOB）を本校に迎えます。

今年度の東豊台小学校は、音楽専科の先生を窓口にして、この事業に積極的に参加し、取り組んでいます。

【それぞれ日にちは異なりますが、3年生から6年生までの全クラスが大阪音楽大学生（含むOB）による授業支援（主として鑑賞）の授業を受けます。】

昨日、11月10日の3年生・2クラスの【弦楽器4重奏】の授業から始まり、今日は、4年生・1クラスが『邦楽アンサンブル』の授業を受けました。

5年生は、3年生と同じく【弦楽器4重奏】の授業を受けます。また6年生は、『ピアノ独奏』の授業を受けます。2学期中には全ての授業を終える予定です。

※下の写真は、今日の4年生・1クラスが受けた『邦楽アンサンブル』の授業風景です。楽器は「三味線」と「琴」です。「琴」はお正月を思わせる音色でした。

『音楽』は、世界中で、人の心を豊かにしたり、支えたりしてくれる、また、人生に、潤いや、勇気、安心等を与えてくれる、なくてはならない文化・芸術だと思います。児童たちが、本物の音楽に触れることはとてもよいことだと思っています。

最後に、本校からも、未来の大音楽家が育つことを願っています。

